

# 環境社会

Environmental & Social Report

# 報告書 2005



## 【ホッキョクグマ】

北極海に、約22,000頭が生息していると言われるホッキョクグマは、冬になって海が凍りだすと、氷の上によって狩りをします。ここ数年の地球温暖化により、氷のはる時期が遅れ、食糧難のためにその数の減少が報告されています。

ペンてるは、WWFを通じて自然保護活動(絶滅の危機にあるホッキョクグマやジャイアントパンダなどの野生動物の保護や、地球温暖化の防止まで幅広い活動)に、商品の売り上げの一部を協賛しています。

Spirit of Wonder

**Pentel**<sup>®</sup>





## 文具を通じて文化を育成します

ぺんてるは社訓で「社業を通じて国家社会への貢献」を掲げ、活動しています。地球環境の保全と汚染防止は人類にとって最も重要な課題ですので、1996年には「ぺんてる環境綱領」を策定し、生産から販売に至るまでのあらゆる企業活動に反映させてまいりました。

1998年7月に吉川工場が筆記具業界で初めて環境マネジメント規格「ISO14001」の認証取得をしたのを皮切りに、1999年茨城工場、2000年には草加工場でそれぞれ認証取得をしました。また、ぺんてるオブアメリカのロス工場と台湾ぺんてるの台北工場でも同様に認証取得しています。

また、近年重要になってきています「企業の社会的な取り組み」についても取り上げ、環境社会報告書と致しました。

「優れた品質の製品であれば世界中の皆様にお使いいただける」との考え方で常に品質管理活動を推進し、デミング賞の受賞、国内外の工場で「ISO9001」を認証取得しました。これらの活動を通じて培われたブランドをもう一度全社員が再認識し、

より強固なものにするための運動を推進しています。

ぺんてるは未知のもの・未経験のものに好奇心を抱き、創造性とマーケットインの姿勢で絶えず世の中にない製品を開発してまいりました。この精神を全社員が共有し、一丸となって各種活動を進めるべく、今年新たにコーポレートメッセージとして「Spirit of Wonder」を掲げました。

世界中のお客様に愛用され続け、“ワクワク、ドキドキ”するような楽しい製品を提供してまいります。

ぺんてるでは、これからも文具を通じて文化を育成し、社会から尊敬される企業・人間を目指し、「書く」「描く」ことに付加価値や感動をあたえる活動を推進してまいります。

ぺんてる株式会社  
代表取締役社長

堀江圭馬



# 目次

ごあいさつ	1
目次	2
会社概要	3

## 基本方針と活動事例

ぺんてる企業行動指針	4
ぺんてるの環境・社会活動のあゆみ	5
文具を通じて文化の育成	7
ぺんてるの社会貢献活動	8
(1) 自然保護活動	8
(2) 地域社会とともに	8

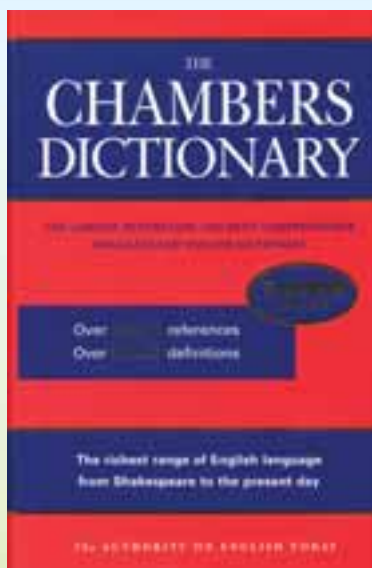
## 環境への取り組み

ぺんてるの環境マネジメント	9
環境に配慮した商品開発	11
(1) 商品づくり	11
(2) 新たなリサイクルの可能性を求めて	13
(3) 異業種とのコラボレーション	14
環境取り組み報告	15
(1) 活動計画と実績	15
(2) エコファクトリーへの取り組み〈国内〉	17
(3) エコファクトリーへの取り組み〈海外〉	18
(4) 環境コミュニケーション	19
(5) 環境会計	21

## 社会責任への取り組み

社会的取り組み報告	22
(1) 企業倫理とコンプライアンス	22
(2) お客様とのかかわり	23
(3) 安全で働きやすい職場づくり	25
編集後記	26

**Pentel**<sup>®</sup> *pen'tel, n* (also without cap) a type of disposable felt-tip or ballpoint pen.



### 世界の人に愛されるPentel

イギリスで最も権威のある英語辞書THE CHAMBERS DICTIONARYに社名“Pentel”がサインペンやボールペンの総称として掲載されました。

# 会社概要

社名	ぺんてる株式会社 PENTEL CO., LTD.
本社	〒103-8538 東京都中央区日本橋小網町7番2号 TEL:03-3667-3333 FAX:03-5695-7303
創立	1946年(昭和21年)3月
資本金	450百万円
売上高	26,300百万円(2004年度)
経常利益	617百万円(2004年度)
従業員数	899人(臨時社員除く)
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文具事務用品(画材、筆記具など)の製造販売</li> <li>2. 電子機器(タッチパネル、デジタイザー、電子ペンなど)の製造販売(電子機器事業部)</li> <li>3. 産業用ロボット、産業用自動組立機、射出成型用精密金型、精密ハンドプレスなどの製造販売(機設部)</li> <li>4. OEM関連製品(化粧品部品、文具事務用品、医療機器など)の製造販売(OEM事業部)</li> </ol> ホームページ <a href="http://www.pentel.co.jp">http://www.pentel.co.jp</a>

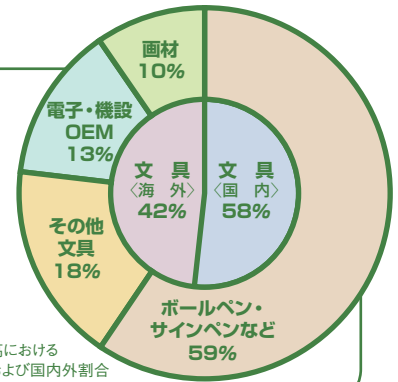
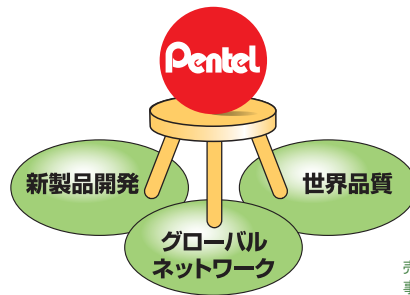
ぺんてるの製品は、文具関係を製造する茨城工場、吉川工場をはじめ、電子機器事業部や機設部がある草加工場の3カ所で製造されています。営業拠点は東京支社、大阪支社をはじめ札幌営業所、仙台営業所、広島営業所、福岡営業所の全国6カ所。さらに浦和流通センター、大阪流通センターが販売活動をサポートしています。



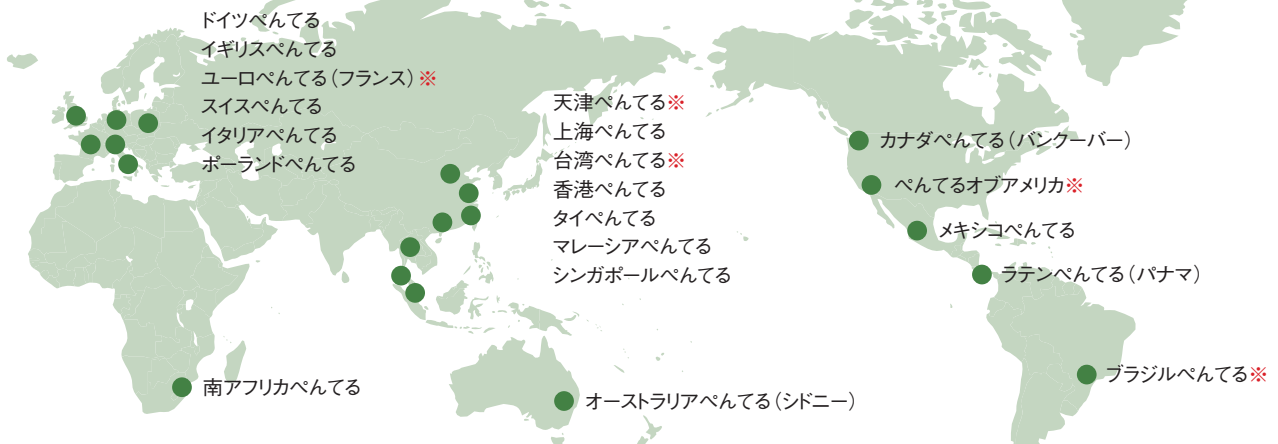
## ■事業内容

ぺんてるといえば、くれよんのイメージが強いと思います。しかしながら現在、くれよんを含む画材の売上は全体の10%に過ぎません。

ぺんてるの事業分野は、電子機器などの製造販売、産業用ロボット・産業用自動組立機・大型インクジェットプリンター・精密ハンドプレスなどの製造販売、さらに化粧品、文具事務用品などのOEM関連製品の製造販売にまで広がっています。



# グローバルネットワーク



世界市場に躍進、充実の生産・販売ネットワークを整えています。ぺんてるは現在世界120カ国に向けて輸出を行っています。その販売活動を支援しているのが世界20カ所の海外販社です。また、フランス、アメリカ、中国、台湾、ブラジルに工場を設立し、積極的な海外展開を行っています。

※工場を併設する海外販社



# ぺんてる企業行動指針

ぺんてるは1996年に「ぺんてる環境綱領」を策定し、地球環境の保護と汚染防止に取り組む姿勢を明確にし、あらゆる企業活動に反映させてまいりました。

また今年、企業の社会的責任を果たし、持続可能な企業構築のために、新たな「ぺんてる企業行動指針」を策定し、企業経営活動の中に組み入れてまいります。

## 基本理念

ぺんてる株式会社は、創業以来の社訓に基づき、企業の社会的責任を果たすために、ぺんてる企業行動指針を策定し、全社員に徹底させ、持続可能な社会づくりを推進します。

### 社 訓

- 一．社業を通じて国家社会への貢献
- 一．製品を通じて全世界よりの信用の蓄積
- 一．相手の気持になって行動する感謝と奉仕の精神
- 一．アイデアを尊ぶ研究的態度
- 一．適正利潤と冗費節約による会社、従業員の繁栄
- 一．正しい人格と愛される人柄の培養

### 企業行動指針

- ・ 広く社会とのコミュニケーションを行い、企業情報を公正に開示します。
- ・ 環境問題への取り組みは人類共通の課題であり、企業の存在と活動に必須の要件であることを認識し、自主的、積極的に行動します。
- ・ 品質、環境、安全性や個人情報・顧客情報の保護に十分配慮して社会的に有用な製品を開発、提供し、消費者・顧客の満足と信頼を高めていきます。
- ・ 「良き企業市民」として、積極的に社会貢献活動を行います。
- ・ 公正、透明、自由な競争ならびに適正な取引を行うこと。また、政治、行政との健全かつ正常な関係を保ちます。
- ・ 従業員の多様性、人格、個性を尊重するとともに、安全で働きやすい環境を確保し、ゆとりと豊かさを実現します。



営業活動




研究開発



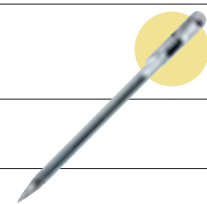
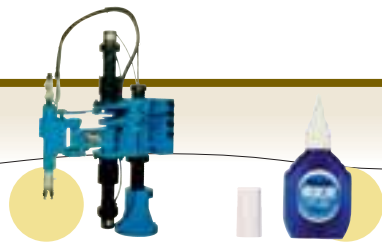
# ぺんてるの環境・社会活動のあゆみ

ぺんてるは、創業時より一貫して、世の中にない新製品をつくり、新しい需要を引き出し、市場を大きくすることを続けてきました。今後もこのポリシーをもって、新製品開発に力を注いでまいります。

## ●ぺんてるのあゆみ

1946年 (昭和21年)	・大日本文具株式会社創立		ぺんてるの前身である大日本文具株式会社創立。当時の社長・堀江幸夫の「新しい日本を作るのにもっとも必要なものは教育である」との理念に基づき、くれよん、絵具などの学用品の製造販売をはじめた。
1952年 (昭和27年)	・草加工場（絵具、くれよん・パス）、日本工業規格（JIS）認定工場に指定される。		業界初のJIS制度導入 QC（品質管理の開始）
1960年 (昭和35年)	・技術研究所設立 ・ノック式シャープペンシル（0.9mm）の発売		世界で初めて粘土芯に替わり、バインダーに合成樹脂を使用した0.5mm芯を市場に導入。シャープペンシルの芯はそれまで0.9mmが主流だった。
1962年 (昭和37年)	・ハイポリマー芯（0.5mm）の発売		
1963年 (昭和38年)	・ぺんてるサインペンの発売		シカゴの見本市で紹介されたサインペンは当時の大統領補佐官の目にとまり、それを使ったジョンソン大統領が大変気に入ったことなどからニュースウィーク誌に掲載され、爆発的な人気となった。
1964年 (昭和39年)	・近代設備を誇る茨城工場建設 ・世界各地に海外販売設立 (香港、シカゴ、パリ、ロンドン、Pentel of America)		1965年、気圧が変化してもインクの漏れないサインペンは、アメリカが打ち上げたジェミニ6号と7号（人類初の宇宙ランデブー飛行）に乗って宇宙でも活躍。
1966年 (昭和41年)	・輸出貢献により内閣総理大臣賞を受賞		(第1回世界児童画展に協賛) 以降、毎年美育文化協会に協賛し、2005年で35回目の開催。
1970年 (昭和45年)	・大阪万国博に国際児童画館を出展・参加 ・第1回世界児童画展に協賛		
1971年 (昭和46年)	・ぺんてる株式会社に社名変更 ・連続8年輸出貢献企業認定を受ける		樹脂チップと水性インキで滑らかな書き味のボールPentel。
1972年 (昭和47年)	・水性ボールペンの発売		電子機器部門に本格参入。
1975年 (昭和50年)	・在庫管理機の発売		
1976年 (昭和51年)	・デミング賞受賞 ・ぺんてる筆の発売		業界初のJIS制度導入にはじまる徹底した品質管理活動で、1976年に文具業界初で唯一となる「デミング賞」受賞。そして引き続きISO9001品質システム及び、ISO14001環境マネジメントシステム認証を取得。 トメ、ハネ、ハライが出来る動物毛を使用しない本格毛筆ペン。

1983年 (昭和58年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PUHAの発売</li> <li>・ペンタッチ修正液の発売</li> </ul>
1989年 (平成元年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイブリッドの発売 ゲルインキボールペン ハイブリッド の発売・爆発的人気を呼ぶ。</li> </ul>
1990年 (平成2年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本社ビル完成</li> </ul>
1995年 (平成7年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ISO9001取得(茨城工場・吉川工場)</li> </ul>
1996年 (平成8年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創立50周年</li> </ul>
1998年 (平成10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ISO14001取得(吉川工場)</li> </ul>
2002年 (平成14年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エルゴノミックスの発売 人間工学に基づく第4の 支点を持つ筆記具。</li> </ul>
2004年 (平成16年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアペンの発売 筆記具と電子の融合。</li> </ul>
2005年 (平成17年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなコーポレートメッセージを発信</li> <li>・創立60周年</li> </ul>



小型精密組立ロボット(PUHA)を開発、発売。  
省力機器部門に参入。

刷毛式に替わる世界初のペンタッチ式修正液  
を発売。



コーポレートメッセージ



記念植樹(毎年環境月間の6月に実施)

## ●環境に対応した活動

### 環境を意識した新製品開発の履歴

1960年 (昭和35年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木を使用しない世界初のノック式シャープペンシル</li> <li>・強く滑らかに書ける、粘土をバインダーとしないハイポリマー芯</li> </ul>
1967年 (昭和42年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カートリッジを使用した水性ボールペン</li> </ul>
1976年 (昭和51年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・穂先に動物毛を使用しない(ナイロンを使用)ぺんてる筆</li> </ul>
1991年 (平成3年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぺんてるペンなど人と地球に優しい商品の開発開始</li> <li>・ぺんてるリサイクルマークの作成・表示</li> </ul>
2000年 (平成12年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エフ水彩えのぐポリチューブ エコマーク認定取得</li> </ul>

### 自然保護への対応

1974年 (昭和49年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茨城工場排水処理施設北茨城地区モデル工場</li> <li>・茨城県緑化コンクール最優秀工場</li> </ul>
1992年 (平成4年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WWF(世界自然保護基金)に協賛開始</li> </ul>
1995年 (平成7年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オゾン層破壊物質の全廃(製品)</li> </ul>
1997年 (平成9年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茨城工場 地球に優しい企業(緑化部門)茨城県</li> </ul>
2001年 (平成13年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茨城工場 地球に優しい企業(環境管理監査部門)茨城県</li> </ul>



## 文具を通じて文化の育成

絵を描くということは子どもの情操教育の上で非常に重要なことですが、一方で絵を描く機会が減少しています。その結果、子どもが即物的で創造性が乏しくなる傾向があると指摘する声もあります。ぺんてるは児童画展覧会や写生大会の活動を実施し、児童の情操、感性の育成に力を入れています。

### 世界児童画展

1970年の大阪万国博以来協賛を続けている世界児童画展（財団法人美育文化協会主催）は、2005年で第35回の開催となりました。この展覧会の表彰式には高円宮妃殿下にもご臨席いただきました。

1970年第1回世界児童画展  
(大阪万国博にて現天皇陛下、  
現皇后陛下をお迎え)



審査会風景



表彰式集合写真

世界40カ国から約20万点の作品が応募されました。



#### ギネスに挑戦!

ぺんてるは創立60周年記念として、2005年10月1日の創立記念日に幕張メッセのアリーナにて日本の北から南までのぺんてる全社員が一丸となって「世界一長い絵」を描き、ギネスに挑戦しました。  
今までの記録：3025m  
ぺんてるの記録：3840m  
現在ギネス事務局に申請中です。

### 写生会

全国で60カ所以上の写生会に協賛しております。



お天気も上々。心地よい海風に吹かれながら絵を描くのは気持ちいい。目立つ建造物に人気が集まるのは写生会の常。この日は、大きな船に子供達が集まりました。(横浜・山下公園にて)





# ぺんてるの社会貢献活動

WWFの自然保護活動への協賛、災害発生時の援助活動への参画や地域社会との結びつきを重視した活動を推進しています。さらに各種学校教育への協力を実施しています。

## (1) 自然保護活動

### [ 活動内容 ]

WWF（世界自然保護基金）の協力を得て、地球温暖化防止内容を盛り込んだ小学校の総合学習教材の作成に取り組んでいます。（2006年4月開始予定）

WWFに協賛し、マークをつけた商品販売上の収益の一部をWWFの自然保護活動に還元しています。

(WWF支援商品群)



©1996 WWF @WWF Registered Trademark



総合学習教材  
「ホッキョクグマが泣いている...」

WWF(世界自然保護基金)に協賛し、このマークをつけた商品の売上の一部をWWFの自然保護活動に還元しています。

## (2) 地域社会とともに

### [ 災害援助活動への参画 ]

本社ビルでは、東京都中央区及び日本橋小網町町会と協定書を締結して、40m<sup>3</sup>（500mlペットボトル8万本相当）の飲料水を備蓄し、万一の災害発生時における供給協力を約束しています。

### [ 地域社会との交流 ]

地域との結びつきを重視し、さまざまな活動を推進しています。

- ・ 本社のある日本橋小網町では、5年に1回小網神社大祭が開催されます。ぺんてるではこのような地域文化を尊重し、積極的に参加しています。
- ・ 毎年 吉川工場（埼玉県吉川市）、茨城工場（茨城県玉里村）において、市長様、村長様はじめ地域の消防団などのご協力・ご出席をいただき、盛大に夏祭りを行っています。その参加者は吉川工場で約1300人、茨城工場で約2000人、社員は皆様に楽しんで頂けるよう数々の出店を午後から用意し、お待ちしております。勿論、ご来場のお子様には弊社製品のプレゼント付きです。
- ・ 草加工場、吉川工場、茨城工場では年に数回、工場周辺及び公共施設などの清掃活動を定例化しています。

### [ 学校行事への協力 ]

- ・ 茨城工場、吉川工場では「夏休みの小中高生の職場体験実習カリキュラム」に賛同し、小中高生の受け入れを行い、働くことの楽しさ、苦しさを体験していただいています。さらにお子様の茨城工場見学を実施し、くれよん、絵の具、ペンなどが出来る工程を見ていただいています。
- ・ また、本社でも、見学に訪れた修学旅行中の小・中学生に対して、受水槽や非常食も見学コースに入れて、防災の意識を持ってもらっています。



吉川工場での夏祭り風景



吉川工場周辺清掃



茨城工場隣接施設清掃



職場体験学習



小学生の工場見学



修学旅行生の見学



# ぺんてるの環境マネジメント

ぺんてるは1996年に環境綱領を制定し、翌年に環境管理・推進の組織を立ち上げました。主として環境への負荷が大きい工場サイドの活動を主に推進し、2003年度には全社環境管理委員会を組織し、全社での取り組みをはじめました。

現在は、

- 1.「ISO14001マネジメントシステム」の確実な実行
- 2.TQM(総合的品質管理)活動の一環として行われている「方針管理」の実施
- 3.「QCサークルの活動(工場部門)」の3項目で推進しています。

### 法令順守の状況

環境法令や排出基準などの遵守に努めています。  
2004年度は吉川工場の老朽化した排水施設を約1億円かけて全面改修しました。



高速嫌気処理装置+担体流動膜分離(屋外)



防音壁

### 方針管理とは

企業の経営活動においてその諸機能に関し、企業の向かうべき方向を重点的に策定し、最適な期間毎にPDCAのサイクルを廻し、目標管理を行うしくみです。

### QCサークルとは

QCサークル活動とは「第一線の職場で働く人々が、継続的に製品・サービス・仕事などの質の管理・改善を行う小グループ」による活動を行います。  
〔「新版QCサークル活動運営の基本」より〕

## 環境綱領

### 〔基本理念〕

ぺんてる株式会社は地球社会のよき企業市民として、企業の社会的責任の重要性を認識し、地球環境保護と環境汚染防止を企業経営の重要な理念として、全社員の環境意識を高め、会社運営の全ての面で人と環境に調和した企業活動を推進します。

### 〔行動指針〕

1. 企業活動全般にわたり、設計開発から廃棄にいたる全ての段階において環境保全を考慮した製品とサービスを開発し、提供します。
2. 環境に関連する国内外の関連法及び協定、約束を遵守し、継続的な環境の保全と向上を図ります。
3. 海外事業展開に際しては、相手国の環境保全の確保に努めます。
4. 新規事業の計画に当たっては、継続的なアセスメントを実施し、環境保全に努めます。
5. 社員に対しては、環境保全に対する情報の提供と教育を行うとともに、顧客、行政、地域社会に対しても環境保全のために必要な情報を提供します。
6. この方針を全社員、全組織に周知徹底するとともに、環境保全に関する知識と技術の向上に努め、全社一丸となった環境管理活動を推進します。

(備考)

環境に関する行動指針は上記の内容となっておりますが、企業の社会的責任を果たし、持続可能な企業構築のため、新たな「ぺんてる企業行動指針」を策定しました。

### 各事業所への展開

#### 環境方針

##### 【国内工場】

草加工場 吉川工場  
茨城工場

##### 【海外工場】

アメリカ  
台湾

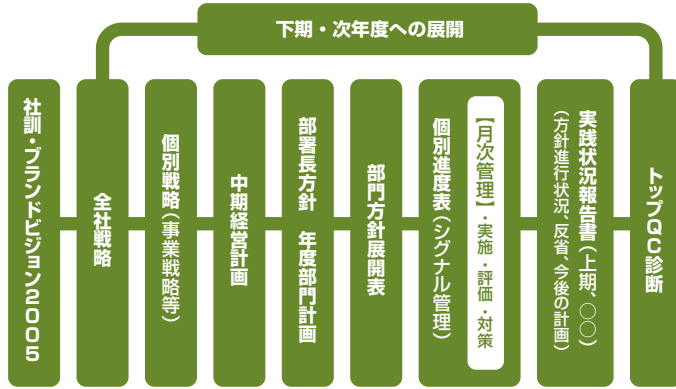
#### 環境マネジメントの活動もグローバル展開しています。

##### ・ISO14001 認証取得状況

吉川工場	1998年
茨城工場	1999年
草加工場	2000年
アメリカ ロス工場	2001年
台湾 台北工場	2002年

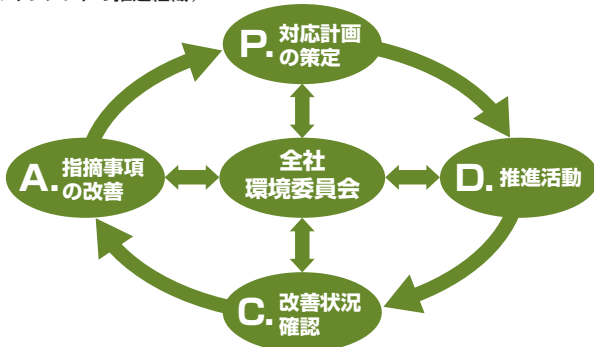
ぺんてるにおける環境マネジメント展開の概念図

〈ぺんてるにおける方針管理〉



年度末に行われる社長をはじめとする経営トップ層QC診断では、Q(品質、品質管理活動ISO9001含む)、C(コスト)、D(納期)、及び環境保全活動(ISO14001)の取り組みについても、その内容について診断が行われ、問題部分に関してはその是正処置が指示されます。

〈環境マネジメントの推進組織〉



QCサークル活動

- 環境提案・ポスターコンクール
- 環境標語
- リサイクルバザー

QCサークル活動を通じて、その社員一人ひとりが参加し改善する活動をボトムアップの形で実行しています。いわば活動全体に心を通わせていく形で推進しています。

ぺんてるにおけるTQM活動

「製品を通じて全世界よりの信用の蓄積」を社訓のひとつとして品質管理活動を1952年に草加工場がJIS表示許可工場に指定されたのがはじまりで、品質の良いものは必ずお客様の満足につながるとの考えで推進してまいりました。この考えをTQC(全社品質管理)活動として推進し、1976年にデミング賞を受賞することが出来ました。現在はその推進をさらにレベルアップさせ、TQM(総合品質管理)へと発展させています。



〈第8回 リサイクルバザー:吉川工場〉



〈第8回 環境提案・ポスターコンクール〉



# 環境に配慮した商品開発

弊社では、同業他社に先駆け1991年より人と地球に優しい環境配慮商品の開発に着手しました。1996年には「ぺんてる環境綱領」を策定し、企業活動全ての側面に環境保全と省資源、省エネルギーへの対応を実行し、現在はこの環境綱領に沿って、「環境への負荷が少ない」商品の開発・製造・販売に取り組んでいます。この環境への負荷が少ない商品をぺんてるではYes (YELL for ECOLOGY STATIONERY) 商品と称し、徐々にその商品数を増やしています。

現在これらの商品は消費者の皆様が手にとってはじめて気づくほど自然に確実に市場に浸透し、今では国内の売上の約50%がYes商品となっています。

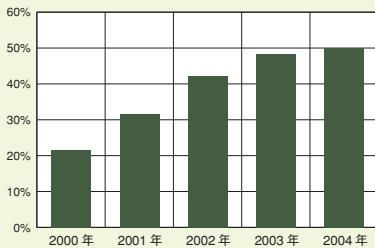
## (1) 商品づくり

ぺんてるではリサイクル素材を使った製品や、製品本体を捨てずに再利用し、長く使用できるようにした商品、更に製品本体に有害物質を使わず、CE基準に合致した商品を開発しています。

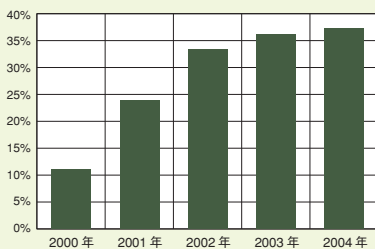


Yes (YELL for ECOLOGY STATIONERY) は、再生材を使用する事、インキを補充できるようにする事等、環境への負荷が少ないぺんてるのエコロジー商品 (= エコマーク商品、グリーン購入法適合商品) です。

Yes 商品比率



エコマーク商品比率



## Yes 商品

様々な再生素材を使用するのはもちろん、加えてより環境に負荷を与えない工夫が盛り込まれています。

製品名：  
ホワイトボードマーカー  
タフ〈MW50M〉



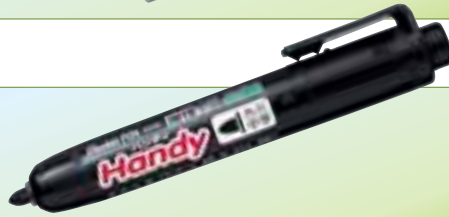
大容量  
+  
インキ補充ができる

製品名：  
Yes 消しゴム  
〈EZE10〉



園芸用ビニール  
シートの廃材利用

製品名：  
ノック式油性マーカー  
ハンディ〈NX50, NX60〉



カートリッジ式  
+  
利便性（ノック式）

製品名：  
ノック式修正テープ  
詰め替えタイプ〈ZT200〉



カートリッジ式  
+  
利便性（ノック式）

製品名：  
シャープペンシル  
ローリー〈AZ135〉



再生材利用  
+  
残り芯が少ない

製品名：  
多色油性ボールペン  
ローリー〈C2, C3, C4〉



デザイン性  
+  
抗菌

製品名：  
マルチプレス  
〈KPM1〉



空き缶、  
ペットボトル減容器

製品名：  
スクールガッシュ  
パウチ容器  
（減容率：75%／従来ボトルとの比較）

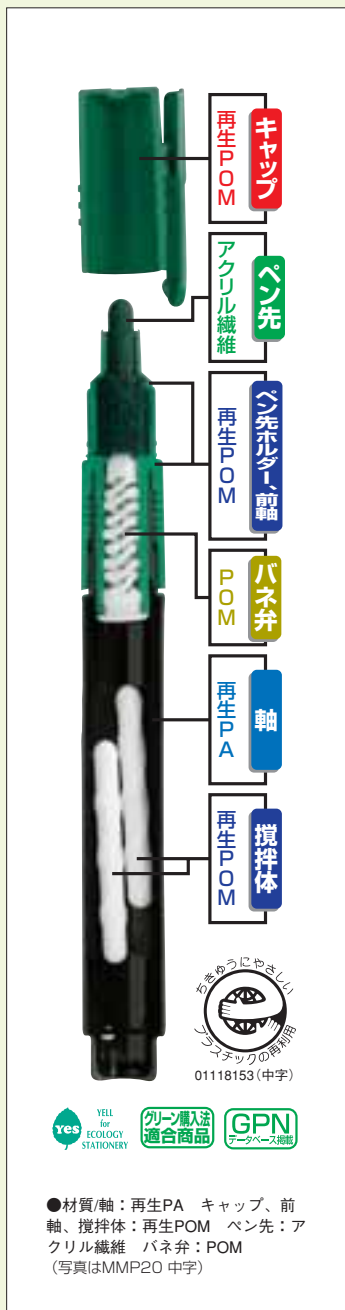


取り扱いやすさ  
+  
廃棄性

ここに掲げられている商品の詳細については弊社ホームページをご参照ください。



プラスチックの再利用



特長

金属部品を使っていない油性ペイントマーカー。プラスチックゴミとして廃棄できます。塗料のように色が濃く、鮮やかな発色。金属・ガラス・プラスチック・ゴム・木材・陶器・皮革などの筆記に最適。色の濃い面にも鮮やかに書けます。工業用・家庭用に幅広く使用できます。不透明・耐水性。

(2) 新たなリサイクルの可能性を求めて

〔商品の廃棄方法に着目した共同開発 + Reuseシステムの構築(T社)〕

開発の発端

自動車部品などにマーキングしているペイントマーカーの本体には金属と樹脂が使用されており、廃棄したときに金属と樹脂に分解して廃棄しなければならない、その作業にとっても手間がかかるので何とかならないか？との打診がありました。

Phase I 〈分解しなくてもよいものが出来ないか〉

本体を全て樹脂にすれば分別廃棄の手間が省けるのでそういう製品が出来ないかとの要望がありました。ペンてるではその要望に応えるのと同時に、エコマーク認定基準もクリアするものにして、より環境への負荷が少ない製品を作ろうとのコンセプトで開発をはじめました。

こうして生まれたのが「樹脂部品だけのペイントマーカー」です。

しかし、インキに含まれる有機溶剤による経時変化に耐えられるのは金属しかないというのが、これまでの常識的な考え方でした。そのため、樹脂を使うということは大変な作業を伴いました。樹脂選びにはじまり、設計し、経時変化に耐えられることを確認。もちろん、インキは自動車のマーキングの要求品質に耐えられなければなりません。

これらの条件をクリアして生まれたのが、「樹脂部品だけのペイントマーカー」です。

Phase II 〈捨てずにリユースできないか〉

現在はペンを使い終えて、インキのなくなった本体を回収し、再度インキを補充して再利用する取り組みをT社と共同で実施し、さらにレベルアップさせています。

T社 ペイントマーカー リユース (Reuse) の例

T社

送付されたときの荷姿



箱の中の状態



ペイントマーカー インキ再充填作業

### (3) 異業種とのコラボレーション

ぺんてるは今後も異業種とのコラボレーションを積極的に進めていきます。  
また、自社商品のリサイクル、リユースの可能性を追求していきます。

#### 〔使用済パソコンのリサイクル活用〕

「I社」では2003年10月の資源有効利用促進法改正施行に先立ち、使用済パソコンの回収を実施しています。その有効利用策のひとつとして「リサイクル材を使って文具が出来ないか」との打診がオフィスサポートサービスの「A社」を通じて弊社にありました。ぺんてるでは今までの各種新製品開発技術と成型技術を活かし、品質の維持と納期の点で多くの課題をクリアし、製品化に成功しました。

現在、この商品は「I社」での使用の他に「A社」を通じ、一般のユーザーの方にも販売させていただいています。

#### 〔リモネンを使って作られたリサイクル素材の活用〕

ソニー社では柑橘類の皮から採れるリモネンを使った発泡スチロールリサイクルシステムに取り組んでいて、その普及のためにそのシステムで作られたリサイクル樹脂の製品化が必要となっていました。

この樹脂を使用した文具の製品化の打診を受けた弊社では、試行錯誤を繰り返し、ボールペンとマーカーの製品化に成功。主にソニー社でのノベルティー用としてご使用いただいています。



使用済パソコンを利用した文具



リモネンを使ったリサイクルPS材を使用した筆記具





# 環境取り組み報告

ぺんてるでは環境保全と省資源への取り組みを、社員全員の参加のもと、また世界各国の販社・工場との連携も考慮したグローバルな視点で推進しています。

## (1) 活動計画と実績

### [ 活動の内容 ]

#### 活動方針1：ゼロエミッションを狙った廃棄物の削減とリサイクルの推進

活動項目	活動状況
廃棄物の分別収集	工場目標達成、本社、支社実施中
プラスチック廃棄物の高炉原料化リサイクル	達成率100%
生ゴミのコンポスト化处理	達成率100%
産業廃棄物のセメント原料化リサイクル	達成率100%
蛍光灯管のリサイクル化	達成率100%

#### 活動方針2：省資源 / 省エネルギーの推進

活動項目	活動状況
消費電力の少ない製造設備の調達・切り替え	更新中
製造工程の見直し・効率化による消費電力の削減	消費電力 16 ページ参照
消灯運動・室内温度適正管理の推進	実施中
製造設備の冷却水の循環化による水の消費量削減	水の消費量 16 ページ参照
裏紙利用等による紙の使用量削減	達成率100%
クールビズへの参加 (2005 年夏)	ネクタイ着用なし (室温 28 度)

#### 活動方針3：環境負荷低減関連法規への対応

活動項目	活動状況
容器包装リサイクルへの対応	対応実施
ドイツ グリューネプункトへの対応	達成率100%
EU EN 71-3 への適合	達成率100%
工場排気・排水浄化処理対策	達成率100%
化学物質の適正管理	PRTR 法への適正対応 RoHS 指令への適正対応
産業廃棄物のマニフェスト適正管理	達成率100%
騒音・臭気削減対策の実施	実施内容 9 ページ参照

#### 活動方針4：環境にやさしい商品の開発

活動項目	活動状況
エコマーク、グリーン購入法、GPN 適合商品の開発	計画達成率100%
包装材の簡素化	実施中
再生材の利用推進	計画達成率100%
環境安全性の高い原材料の使用	塩ビの削減 計画達成率 100%
製品環境アセスメントの推進	品質機能展開表に項目設定、DR時に確認実施

#### 活動方針5：グリーン調達の推進

活動項目	活動状況
環境ラベル製品の購入推進	GPN データベースを参照し、実施中
印刷インキ (パンフレット類) の大豆インキ化	実施中
再生紙への切り替え	達成率100% (デザイン用紙除く)
消費電力の少ない事務機器の調達	実施中

#### 活動方針6：社会貢献・コミュニケーション

7 ページ「世界児童画展、写生会」、8 ページ：WWF、社会貢献活動をご参照ください。	
---	--



[ 環境パフォーマンス管理 ]

項目	《草加工場》	《茨城工場》	《吉川工場》	考察
電力使用料 (百万円)				順調に削減してきているが、最近は頭打ち傾向でもある。
水道使用料 (百万円)				工場により差が見られる。吉川、茨城工場は製造装置を稼働させるための使用量割合が多く、今後の対応が難しくなりつつある。
リサイクル量 <sup>※</sup> (トン)				リサイクルが進んでいる。 ※マテリアルリサイクルとサーマルリサイクルの両者を指す。
廃棄量 (トン)				
特記事項	ゼロエミッションほぼ達成。 廃棄物のほとんどがリサイクル利用されている。 今後はサーマルリサイクル量の削減が課題。		替芯製造時の歩留まりの向上が進んでいる。しかし、さらなる向上が必要であり、設備面の見直し、生産技術の改善でさらなる積み上げを確保する。	

[ グリーン調達 ]

工場においては、国内外の化学物質規制が強化される中、調達品のそれらへの適合性を評価し、基準適合品の調達を推進しています。また、オフィスでは以下のグリーン購入活動を推進しています。

・コピー紙：リサイクル紙使用率 95%  
(デザイン用、POP用などの特殊用紙が5%)

・トイレトペーパー：リサイクル紙 90%  
・節電型電気機器の購入



ここでは国内事業所の個別対応の内容についてご報告させていただきます。全社の環境対応は 15 ページ、16 ページにて報告しています。

**草加工場の主な環境保全活動事項**

- ① 省エネルギー・省資源の推進。
- ② ゼロエミッションを狙った廃棄物の減量とリサイクルの推進。
- ③ 環境負荷の低減に配慮した研究・開発。
- ④ 工場内外の清掃・美化の実施。
- ⑤ 法規に対応した環境負荷低減活動の推進。

草工場での環境保全活動事項は上の通りです。特に力を入れているのが ①② ですが、ゼロエミッションはほぼ達成したので、現在はサーマルリサイクルの削減も追加実施しています。



ISO14001 定期審査風景



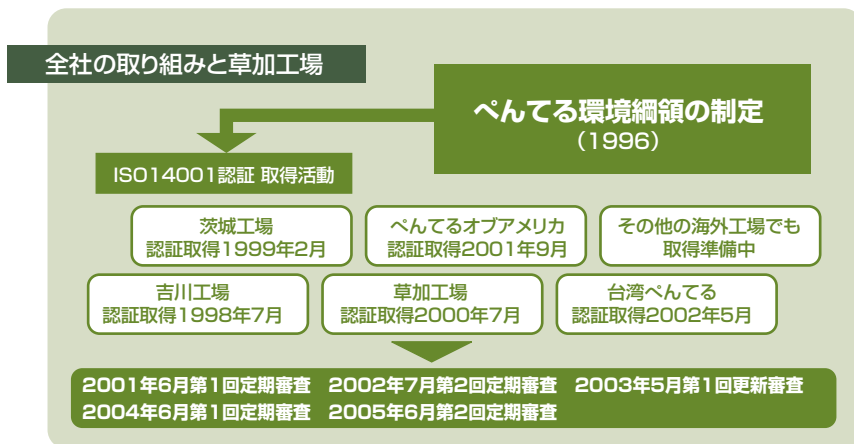
ISO14001 現場審査状況  
(工場食堂残飯のコンポスト化機器の前で)

**(2) エコファクトリーへの取り組み〈国内〉**

**[ 草加工場の環境対応について ]**

草加工場の稼働開始当時は、周囲はほとんどが工場でした。しかし近年では、マンションなどが立ち並び、住宅地化が進んでいます。

そのような立地条件をふまえて、工場内の適正配置を行い、草工場は生産工場から研究・設計を中心とした工場へと再構築中です。



**2005～2007年度 環境目的・目標**

主な環境保全活動事項	目的	目標		
		2005年度	2006年度	2007年度
省エネルギー、省資源の推進	電力消費22.4%削減	9.0% (累計)	21.6% (累計)	22.4% (累計)
	水使用量10.6%削減	2.4% (累計)	7.7% (累計)	10.6% (累計)
ゼロエミッションを狙った、廃棄物の減量とリサイクルの推進	排出物38.1%減量 (サーマルリサイクル)	20.8% (累計)	31.2% (累計)	38.1% (累計)
環境負荷の低減に配慮した研究開発	電気化学的海洋生物付着防止方法の研究 (汚染物質排出度0%)	汚染物質0%	汚染物質0%	汚染物質0%
工場内外の清掃・美化	工場内外の清掃・美化 一斉清掃9回	一斉清掃3回 (累計)	一斉清掃6回 (累計)	一斉清掃9回 (累計)
法規に対応した環境負荷低減活動の推進	自動車排出物の低減 (窒素酸化物・粒子状排出物)	NOx1.0% (累計) PM1.0% (累計)	NOx20.4% (累計) PM2.0% (累計)	NOx39.5% (累計) PM3.0% (累計)
	工場再配置に伴う緑化率の向上	工場再配置計画に基づき順次計画化		2008年度第二工場の緑地面積
	PCB廃棄物の廃棄処理	事前登録	2016年7月までに廃棄	

部門別環境目的・目標設定表

環境マネジメントプログラム部門別進捗表

**微弱電流による海洋生物付着防止研究**

火力発電所などでは、海水を使用して冷却などをしていますが、海水中に棲む微生物の熱交換機への付着防止に現在は化学物質を使用しております。べんてるではこの化学物質に替わる、微弱電流を利用したそれらの付着防止方法を研究しています。また、家庭内の水まわりへの応用も現在研究中です。



### (3) エコファクトリーへの取り組み〈海外〉

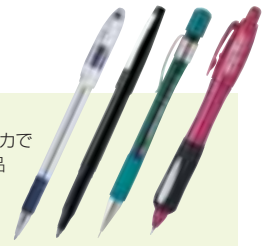
#### [ペンてるオブアメリカの事例]

ペンてるオブアメリカは1965年に設立され、カリフォルニア州トーランス市にある本社及び工場の他、シカゴ支店を有し、全米へのデリバリーを行っています。工場ではローリングライター（水性ボールペン）、油性ボールペン、シャープペンシルなどを製造しています。

このような状況の中で、ロス工場ではISO9001認証を1999年に取得し、さらに2001年にISO14001認証取得を完了しました。現在その体制を維持・向上させるために、マネジメントのしくみを構築・推進しています。

多様な人種で構成される従業員への展開を確実なものにするための年間教育スケジュールの策定、中でも環境に対する取り組みに多くの時間を割いています。このように従業員と一体となった活動を推進しています。

ペンてるオブアメリカで  
生産されている商品



ペンてるオブアメリカ

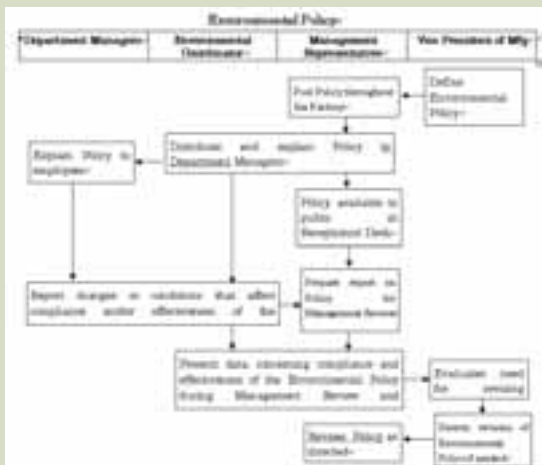


環境ポリシー



ISO14001 更新審査風景 (2005年5月)

#### 環境マネジメントのしくみ



#### 年間教育スケジュール (ハイライト部分が環境関連)

APRIL	MAY	JUNE	JULY	AUGUST	SEPTEMBER
<ul style="list-style-type: none"> <li>1. English As A Second Language</li> <li>2. All Shift New Hire Input At Start</li> <li>3. Operator Training</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. English As A Second Language</li> <li>2. Exit Walk Training</li> <li>3. Operator Training</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. Exit Walk Training</li> <li>2. Operator Training</li> <li>3. Operator Training</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. Exit Walk Training</li> <li>2. Operator Training</li> <li>3. Operator Training</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. Exit Walk Training</li> <li>2. Operator Training</li> <li>3. Operator Training</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. Exit Walk Training</li> <li>2. Operator Training</li> <li>3. Operator Training</li> </ul>
<p><b>TRAINING ATTAINED</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. English As A Second Language</li> <li>2. All Shift New Hire Input At Start</li> <li>3. Operator Training</li> <li>4. Operator Training</li> </ul>	<p><b>TRAINING ATTAINED</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. English As A Second Language</li> <li>2. Exit Walk Training</li> <li>3. Operator Training</li> <li>4. Operator Training</li> </ul>	<p><b>TRAINING ATTAINED</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. Exit Walk Training</li> <li>2. Operator Training</li> <li>3. Operator Training</li> <li>4. Operator Training</li> </ul>	<p><b>TRAINING ATTAINED</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. Exit Walk Training</li> <li>2. Operator Training</li> <li>3. Operator Training</li> <li>4. Operator Training</li> </ul>	<p><b>TRAINING ATTAINED</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. Exit Walk Training</li> <li>2. Operator Training</li> <li>3. Operator Training</li> <li>4. Operator Training</li> </ul>	<p><b>TRAINING ATTAINED</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. Exit Walk Training</li> <li>2. Operator Training</li> <li>3. Operator Training</li> <li>4. Operator Training</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>1. Exit Walk Training</li> <li>2. Operator Training</li> <li>3. Operator Training</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. Exit Walk Training</li> <li>2. Operator Training</li> <li>3. Operator Training</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. Exit Walk Training</li> <li>2. Operator Training</li> <li>3. Operator Training</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. Exit Walk Training</li> <li>2. Operator Training</li> <li>3. Operator Training</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. Exit Walk Training</li> <li>2. Operator Training</li> <li>3. Operator Training</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. Exit Walk Training</li> <li>2. Operator Training</li> <li>3. Operator Training</li> </ul>
<p><b>TRAINING ATTAINED</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. Exit Walk Training</li> <li>2. Operator Training</li> <li>3. Operator Training</li> <li>4. Operator Training</li> </ul>	<p><b>TRAINING ATTAINED</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. Exit Walk Training</li> <li>2. Operator Training</li> <li>3. Operator Training</li> <li>4. Operator Training</li> </ul>	<p><b>TRAINING ATTAINED</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. Exit Walk Training</li> <li>2. Operator Training</li> <li>3. Operator Training</li> <li>4. Operator Training</li> </ul>	<p><b>TRAINING ATTAINED</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. Exit Walk Training</li> <li>2. Operator Training</li> <li>3. Operator Training</li> <li>4. Operator Training</li> </ul>	<p><b>TRAINING ATTAINED</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. Exit Walk Training</li> <li>2. Operator Training</li> <li>3. Operator Training</li> <li>4. Operator Training</li> </ul>	<p><b>TRAINING ATTAINED</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. Exit Walk Training</li> <li>2. Operator Training</li> <li>3. Operator Training</li> <li>4. Operator Training</li> </ul>



#### (4) 環境コミュニケーション

##### 〔ホームページでの情報収集・発信〕

ぺんてるではお客様との直接対話手段として Web サイトの運営とメールマガジンの発行をしています。

「月刊ぺんてる」2004年5月号にて“地球にやさしい「エコロジー商品」”として弊社の取り組みを紹介させていただきました。



ホームページのトップに「エコロジー情報」のタブを作り、弊社の環境報告書、エコロジー商品の紹介をさせていただいています。

※ぺんてるメールマガジンはホームページのメールマガ登録ボタンより登録いただけます。

##### メールマガジンを通じたお客様とのコミュニケーション



##### ぺんてるの取り組み

お客様はご自身で何か行動をして目に見える形で環境にやさしい行動をしたいと考えられているようです。

ぺんてるでは詰替型商品のようなお客様と一緒に環境への負荷を少なくする製品の開発に力を入れていきます。



エコロジー商品カタログ

## 〔環境社会報告書での情報発信・コミュニケーション〕

ぺんてるでは1991年、人と地球にやさしい「グリーンラベル商品」の開発や「ぺんてるリサイクルマーク」を作成・表示し、お客様とのコミュニケーションをはじめました。

お客様にぺんてるの環境取り組みをご理解頂けるよう、1999年に環境報告書『グリーンカンパニーをめざして』を発刊し、環境保全と省資源への取り組みを情報発信致しました。2004年にはその後の環境活動をまとめ、環境報告書『環境保全と省資源への取り組み』、及びお子様向けに環境を考えるひとつのきっかけになればと考え、『ぺんてる ペベとルルのエコ研究』を発刊致しました。

さらに本年は社会的な取り組みについての情報量を充実させて、環境社会報告書2005として発刊致します。昨年度版に比較し、2倍強のボリュームにし、構成にも工夫し作成致しました。

なお、弊社エコロジー商品についてはホームページをご参照ください。

## 〔環境関連ショーへの出展とコミュニケーション〕

ぺんてるの環境対応をご理解いただくとともに、直にお客様とコミュニケーションが出来る場として各種展示会に参加しています。「エコプロダクツ2004」ではお客様、特に自由研究の一環として来場されるお子様の参考になればとの考えから、お子様向けパンフをつくり、さらにぺんてるの工場ではどのような環境への対応をしているかをクイズ形式で実施し、大盛況でした。



エコプロダクツ風景



「ぺんてるペベとルルのエコ研究」  
2004年度は「絵の具」をテーマに作成。今後も毎年テーマを変え、発行して参ります。

## 〔商品環境情報〕

ぺんてるでは、エコマークやぺんてる独自の環境マークをカタログなどに表示しています。



### ●エコマーク

エコマークは（財）日本環境協会が、私たちの日常生活に伴う環境への負荷の低減などを通じて環境保全に役立つと認められると認定した商品に付けられています。この目的は商品の環境的側面に関する情報を広く社会に提供し、環境にやさしくありたいと願う消費者による商品の選択を促すことにあります。



### ●グリーン購入法

グリーン購入法は、国の各機関や都道府県・市区町村、事業者、消費者のそれぞれが、環境物品など（エコマーク商品などの環境保全型製品やサービス）を調達（購入）することにより、「環境にやさしい」いわゆる『環境保全型社会』をつくることを目的とした法律です。



### ●グリーン購入ネットワーク

グリーン購入ネットワークは、グリーン購入の取り組みを促進するために1996年2月に設立された企業・行政・消費者の緩やかなネットワークです。全国の多種多様な企業や団体と同じ購入者の立場で参加しています。ネットワークでは幅広くグリーン購入の普及啓発を行うとともに、購入ガイドラインの策定、環境に配慮した商品情報をまとめたデータベースの発行、国内外における調査研究活動、地域ネットワークの立ち上げなどを通じて、消費者・企業・行政におけるグリーン購入を促進しています。



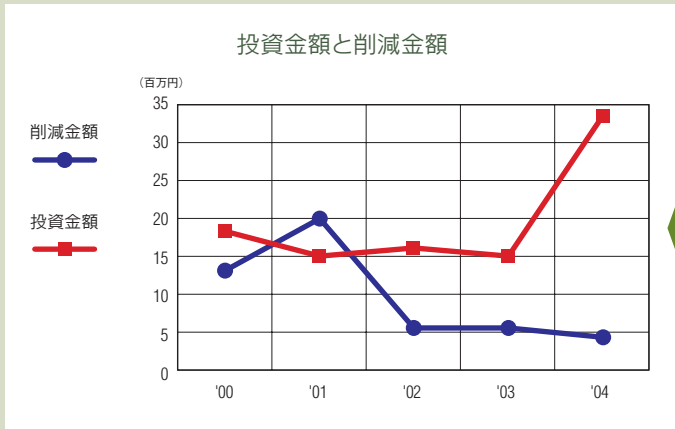
### ●Yesマーク

ぺんてるは、環境問題に積極的に取り組むという企業の方針の下、より多くの廃棄素材を有効に再利用するため、部品ごとに様々な再生材を適材適所に活用しています。環境への負荷が少ないということをはじめ、キャップ安全性ISO規格、欧州玩具安全基準などにも準拠した、ぺんてるのエコロジー商品ブランドです。



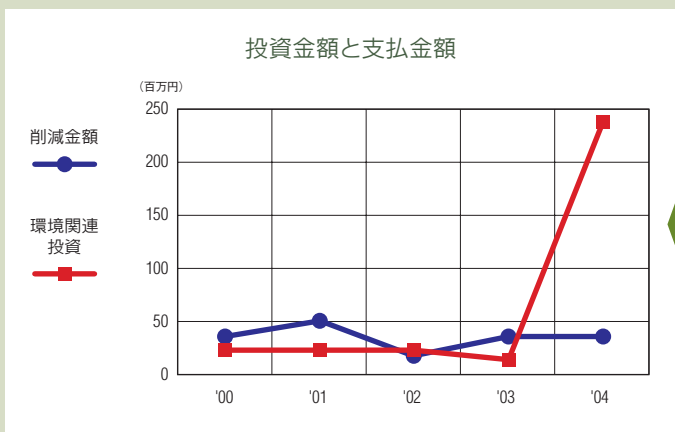
(5) 環境会計

草加工場



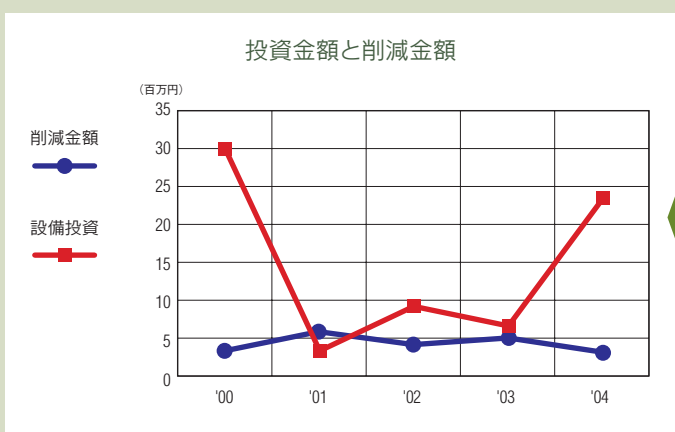
〈対策〉  
漏水対策  
使用電力の再検討  
成型機冷却水のリサイクル化などを推進している。

茨城工場



コンプレッサーの統合  
ボイラーのガス化  
記録類の電子化  
冷却水のリサイクル化  
漏水箇所の修繕  
蛍光灯のリース化  
汚泥の減量化

吉川工場



主な設備投資内容  
・冷却水の循環施設  
・蒸気配管の見直し、修理  
・省エネ型コンプレッサーの導入

生産技術の改善  
・焼成温度の見直し  
・替芯乾燥枠の改善  
・歩留まりの向上



# 社会的取り組み報告

「社会的に尊敬され、愛される人間になる」

このためにペんてるでは、輸出管理、児童労働、個人情報保護などについて、事業所毎の集合教育の実施や社内報を使って全社員への情報配信を行っています。

## (1) 企業倫理とコンプライアンス

### 「ペんてるの経営理念」

文具を通じて文化を育成し、社会から尊敬される企業をめざして、全世界のペんてる社員に“ペんてるブランドビジョン 2005”を配布しました。

これは、「社会的に尊敬され、愛される人間になる」ための《ペんてる社員としてのあるべき姿勢》を定めたもので、日本語はもとより英語、ドイツ語、フランス語等に訳されています。

### 「コンプライアンス活動」

企業・個人が社会活動（企業活動）を遂行する上で守るべき行動規範として、コンプライアンスを定義づけています。

グローバルな事業を展開するペんてるでは、社会から尊敬され、愛される企業となるため、世界中の工場の労働者の人権、労働環境、労働条件や環境について、その国や地域の法令・規則の遵守はもとより、正しい行動を実践しています。

### 《社員への取り組み状況》

安全輸出管理に関する内部監査や、児童労働・強制労働禁止等に関する理解と各種法令遵守のための社員教育を継続的に実施しています。

### 「個人情報保護に向けた取り組み」

企業からの個人情報流出事故・漏洩事故に備え、ペんてるでは個人情報保護の重要性を順次、社員に研修を行っています。

また、ハード面では社内端末機器のパスワード管理を徹底するなど、リスク管理体制の確立に向けた取り組みを行っています。

### ペんてるにおける個人情報保護ポリシー

ペんてるは、個人情報の適切な取り扱いが当社の大変重要な社会的責務と考え、以下の取り組みを推進します。

1. 本人の同意のある場合、または法令で許容されている場合を除き、通知もしくは公表した利用目的、または取得の状況から明らかな利用目的のみ個人情報を利用します。
2. 必要かつ適切な安全管理対策を講じることにより、個人データの漏洩、滅失または毀損の防止など個人データの安全管理に努めます。
3. 社員に対する教育啓蒙活動のほか、個人情報を取り扱う部門ごとに管理者を置き、個人情報の適切なる安全管理に努めます。
4. あらかじめ本人の同意のある場合、または法令で許容されている場合を除き、第三者には個人情報を提供しません。
5. 保有個人情報の確認、訂正などを希望された場合は、合理的な範囲で対応します。



ペんてるブランドビジョン 2005



ペんてる社内報 2005年4月号写真



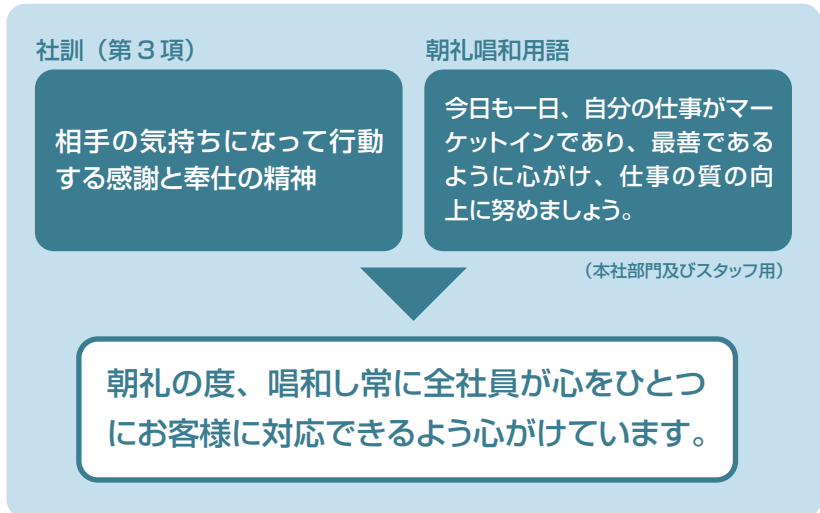
吉川工場 9 月期教育風景



## (2) お客様とのかかわり

### 〔文句を言う人は神様（ぺんてる社史『円なる英魂』より）〕

ぺんてるは創業以来QC（品質管理）を会社のひとつの柱として活動を進め、お客様に安心してお使いいただけるよう、高品質の商品をご提供してきました。また、お客様のご意見をじっくりお聞きし、どう作り変えたら（品質改善したら）お客様に喜んで使っていただけるかを考えて商品づくりをしています。



お客様相談室

### 〔お客様への情報提供〕

お客様からいただいた情報は品質改善に使わせていただくとともに、他のお客様にも活用していただけるよう、製品への表示やホームページ上で情報を提供させていただきます。

#### （一例）

- 国内の安全性に関する法規制はもとより、海外の法、指令に関しても海外販社を通じて、積極的に情報を入手し、対処しております。文具の安全性規制への対応は重金属の含有有無を調査すべく、自社内に分析装置を置いて分析調査しています。
- お客様からボールペンの替芯のお問い合わせが多く寄せられていましたのでお探しのボールペン替芯がすぐわかるよう、ホームページに一覧表、交換方法を掲載させていただきました。
- またお子様方から、夏休みの自由研究等で、文具の出来る過程を紹介して欲しいと言うお問い合わせもいただきましたので、ホームページ上に掲載するようにしました。

お客様相談室：

0120 - 12 - 8133

ホームページアドレス：

[www.pentel.co.jp](http://www.pentel.co.jp)

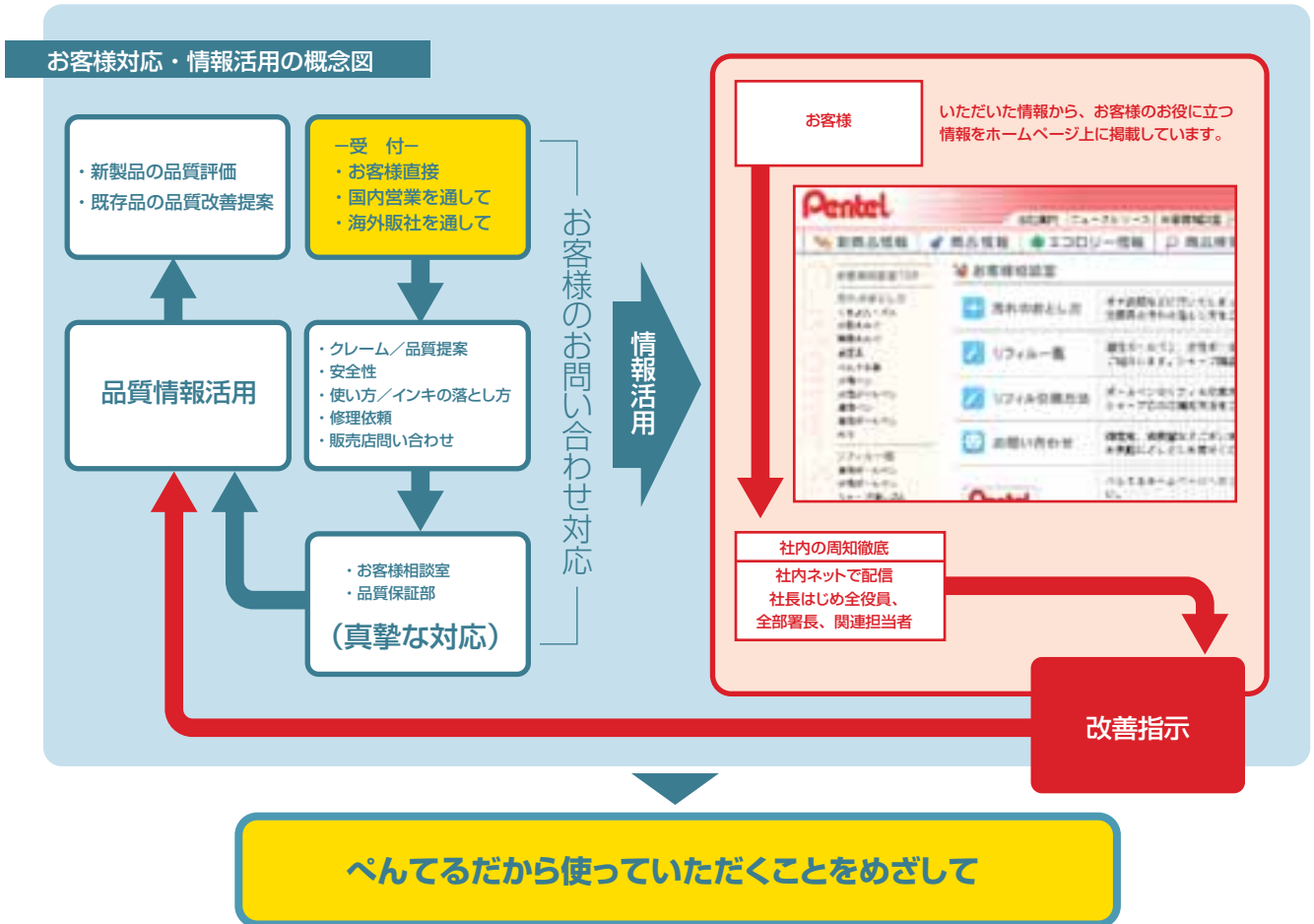


## [ お客様相談室の取り組み ]

ぺんてるではお客様相談室を品質保証部の中に設置し、お客様の声を直接、品質改善に活かせるよう取り組んでいます。

お客様相談室へのお問い合わせは電話（フリーダイヤル）及びお手紙、弊社ホームページにて承っており、お客様からいただいた情報は引き続き「ぺんてるファン」になっていただけるよう下図のような方法で活用しています。

(ぺんてるの個人情報保護ポリシーについては22ページをご覧ください)



## [ 品質保証 ]

ぺんてるでは創業以来品質管理を徹底し、お客様に信頼度の高い商品をお届けするよう日夜努力しています。

また、お客様からいただいた情報は、製品・企業活動の改善や啓発のために企画・開発・製造・営業など全社で活用させていただいています。

そして、品質保証を徹底するために全社品質保証委員会を開催し、重点実施事項を定め、その活動を推進しています。

### 主な取り組み

1. 不具合を未然防止する活動
2. 不具合が発生させたときのすばやい対応
3. 改善事項の全社への水平展開・標準化



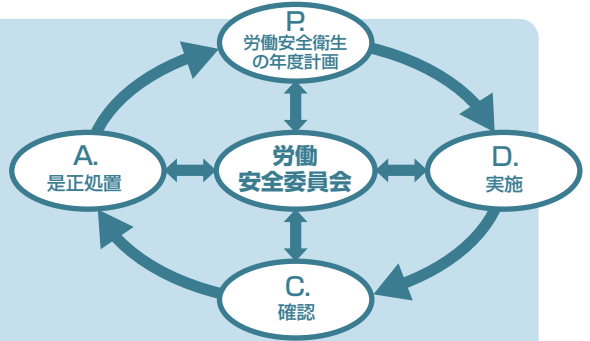
### (3)安全で働きやすい職場づくり

#### 〔労働安全衛生〕

労働安全衛生に関して、特に機械等を扱う製造現場の取り組みを重点的に実施してきています。

#### 工場の活動概念図

労働安全委員会は毎月、その委員会による工場巡回を実施し、機械の異常、設備の状況を確認、問題あるときには該当部署に是正勧告、対策の確認を実施しています。



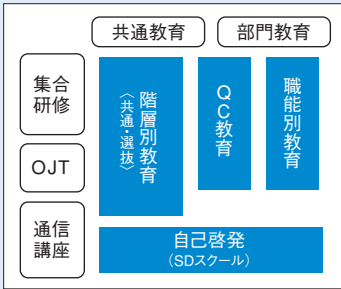
#### 年度結果

##### ・労働災害発生状況（2004年度）

定期的開催の労働安全工場巡回により、右のような結果になっています。今後もさらにこの活動を推進し、発生事故ゼロを目指します。

	総労働時間 (h)	発生事故		備考
		休業災害	不休業災害	
茨城工場	581,074	0	5	
草加工場	420,181	0	0	事業場無災害表彰※
吉川工場	224,384	0	0	

※(社)春日部労働基準協会より



社員教育のしくみ



階層別教育風景



なすびサークル 金賞受賞  
第35回 全日本選抜QCサークル大会  
2005年11月16日 日比谷公会堂

#### 〔健康管理〕

従業員の健康を確保し、安心して働けるよう毎年、定期健康診断を実施しており、全社の受診率は97%となっております。

また、ぺんてる健康保険組合とタイアップして、人間ドック検診の援助や生活習慣病予防の個別相談会を実施しています。

#### 〔社員教育〕

2004年度社長方針で“人財の育成”を掲げ、全社で計画的に取り組んでおり、その結果はトップQC診断（経営トップによる実施状況の確認）にて評価しています。

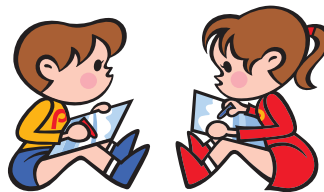
教育は、入社直後の新入社員教育や階層別教育、中央研究所等の各部門での職能別教育、通信教育（SDスクール）での自己啓発、更にはQC教育を行い、社員一人ひとりのスキルアップ、モラルアップを図っています。

階層別教育では各部門から中堅社員を選抜し、広い視野と問題意識を養い経営感覚を習得するためのMMC研修も実施しています。

社員の自己啓発の場である、「ぺんてるSDスクール」は、年2回開講し、修了者に受講料の補助と、昇格試験への加点をしています。

工場部門では、QC教育の実践の場として、QCサークルによる改善提案活動を推進しています。この活動の集大成とも言えるQCサークル全日本選抜大会で金賞（2002年）、銀賞（2003年）を受賞いたしました。

さらに2005年は、茨城工場のなすびサークルが11月16日日比谷公会堂で行われた第35回全日本選抜QCサークル大会で金賞を受賞いたしました。



ぺんてるの子供用商品のマスコット「ペベ」(左)と「ルル」(右)はより親しみやすく、また、安心してお使いいただける、シンボルキャラクターです。

## 編集後記

環境省「環境報告書ガイドライン2003」の25項「社会的取り組みの状況」の項目を参考に、環境側面のみならず、社会的な側面も取り入れ、「環境社会報告書」と致しました。

しかし、今回の活動を通じて、

- ・事業活動のマテリアルバランスの状況
- ・環境に配慮したサプライチェーンマネジメント等の状況
- ・輸送に係わる環境負荷の状況及びその低減対策製品
- ・サービスのライフスタイルでの環境負荷の状況及びその低減活動

などについて課題を残していますので、今後の活動のなかで推進致します。

### 《情報の収集期間》

原則、2004年度までの情報・データを収集期間としました。しかし、本年の写真、トピックスなどに関しては、できるだけ新しい情報(2005年度)を取り入れ、編集いたしました。



第35回世界児童画展 特別金賞受賞作品  
 “私の大好きな国 タイ” 9才男 タイ

**べんてる株式会社** 〒103-8538 東京都中央区日本橋小網町7-2 TEL 03 (3667) 3333 (代表)

お問合せ窓口:環境社会報告書編集委員会 事務局 TEL 03 (5695) 7292



本報告書はFSC森林認証指定紙を使用し、VOC成分ゼロの大豆油インキで印刷しています。

